

県北の**力** 神尾たかよし NEWS

4月臨時議会 (令和3年4月1日)

埼玉県立病院機構の

臨時議会で中期計画を可決！

埼玉県の医師不足解消へ！

新たに医師45人を確保します。

4月1日の臨時議会は、私たち自由民主党議員団が主張してきた埼玉県立4病院の独立行政法人化に伴い、設立した県立病院機構の中期計画の認可について審議され、全会一致で可決されました。

県立病院機構は、循環器・呼吸器病センター（熊谷市）、がんセンター（伊奈町）、小児医療センター（さいたま市）、精神医療センター（伊奈町）の4病院で、高度な専門医療を扱う『専門病院』として位置づけられています。

県立病院を独立行政法人化した大きな理由は、県内で慢性化している医師不足の解消と経営の改善を図ることです。職員は公務員でなくな

ることで、給与体系を含む地方公務員法の縛りがとれ、報酬の底上げができ、優秀な人材の確保が期待できます。

中期計画では、4病院で医師を45人増員し、経営面においても今後5年間で赤字体質から脱却し、**黒字化を図る**としています。また、患者の遺伝子情報に基づき、各人にとって最適な治療法を提供する「がんゲノム医療」の推進や、地域医療機関との連携強化を図ることで、患者の満足度向上を目指します。

埼玉県の医療水準を向上させ、誰もが安全で安心な医療を享受し、健康確保ができますよう全力で働きかけてまいります。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構中期計画素案（骨子） 一部抜粋

県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

高度専門・政策医療の持続的提供と地域医療への貢献

・病院機能に応じた質の高い医療の提供、新たな医療課題への対応、地域医療機関との連携

・**循環器・呼吸器病センター** 循環器・呼吸器系疾患の高度専門医療、SSN基幹病院としての脳卒中患者の受入れ、第二種感染症指定医療機関としての医療等

・**がんセンター** 都道府県がん診療連携拠点病院としてのがん医療、ロボット支援下手術の導入、がんゲノム医療の推進、臨床腫瘍研究所における専門研究等

・**小児医療センター** 小児専門病院としての高度専門医療、周産期医療の充実、小児三次救急の提供、がんゲノム医療・CAR-T細胞療法の実施等

・**精神医療センター** 依存症・児童思春期精神疾患・医療観察法指定医療機関としての高度専門医療、精神保健福祉センターとの一体的な運営等

患者の視点に立った医療の提供

患者等の満足度向上インフォームド・コンセントの推進、待ち時間の短縮。入退院支援センターの活用、積極的な情報発信、医療の標準化と最適な医療の提供。

安全で安心な医療の提供

医療安全対策の推進と適切な情報管理、感染症対策の強化、災害対策の推進。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 中期計画（素案）の概要

令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

中期目標を達成するための取組

- 県の医療政策としての高度専門・政策医療の提供と地域医療への貢献
- 法人の優位性を活かした人材の確保と優れた組織づくりの推進
- 効率的な病院運営による財務内容の改善

県民の健康確保

県の医療水準向上

病院の経営基盤強化



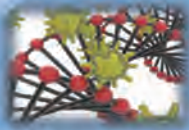
高度専門・政策医療の提供

● 高度専門・政策医療の持続的提供

- がんゲノム医療・CAR-T細胞療法・小児生体肝移植医療等の提供

主な取組

がんゲノム医療



患者一人ひとりの遺伝子情報に基づく最適な治療法を提供

● 地域医療機関との連携

- 病院・診療所・薬局との連携強化

● 患者満足度の向上

- 患者に最適な医療の提供、入退院支援センターの積極的な活用

主な指標

入院患者満足度



R1 実績		R7 目標	
循呼	91.3%	循呼	92.5%
がん	89.0%	がん	90.0%
小児	93.4%	小児	95.0%
精神	75.3%	精神	80.0%

● 安全で安心な医療の提供

- 医療安全対策と院内感染対策の充実



人材の確保と組織づくり

● 優れた人材の確保・育成

- 医療人材の確保と定着、教育・研修の充実による人材育成

主な取組

教育・研修の充実



高度専門医療を担う医療人材の育成

● 働き方改革の推進

- I o T・A I 技術の活用による業務の効率化、職員の満足度向上

主な指標

職員満足度



R1 実績		R7 目標	
循呼	65.1点	循呼	70.0点
がん	61.7点	がん	66.0点
小児	63.2点	小児	70.0点
精神	72.3点	精神	75.0点

● 優れた経営体の構築

- 理事会を中心とした運営体制の構築、経営企画機能の強化



財務内容の改善

● 収入の確保・費用の削減

- 病床の効率的な運用や適正なレセプト作成、後発医薬品の導入

主な指標

病床利用率



R1 実績		R7 目標	
循呼	75.2%	循呼	81.0%
がん	76.6%	がん	82.2%
小児	81.4%	小児	83.5%
精神	82.9%	精神	84.5%

● 経営基盤の確立

- 中期目標期間内の経常収支均衡

主な指標

経常収支比率

R1 実績	R7 目標
98.2%	100%以上

